

親潮

oyashio 北水同窓会誌

第292号

平成20年度 第2号



特集 応援団&チアリーディング部

北水のエール事情

社会で活躍する OG・OB グッジョブ!



全国水族館・博物館だより

(学生発～) Hello! 研究室

水産油脂の新機能開発(高橋是太郎研究室)

親潮インフォメーション

親潮

oyashio 第292号
平成20年度 第2号

CONTENTS [もくじ]

特集

応援団&チアリーディング部

北水の エールの 事情



③

社会で活躍するOG・OB グッジョブ！

⑦

花王(株) 鴨川シーウィールド 引地 啓(56化)
北海道立栽培水産試験場 中尾 博己(51ギ)

全国水族館・博物館だより

⑧

荒井 一利(54ゾ)
今村 央(63ゾ)

学生発「Hello」研究室

⑨

水産油脂の新機能開発
(高橋是太郎研究室)

⑩

「会員の受賞紹介・お知らせ」

⑪

栗原秀幸氏が日本農芸化学会北海道支部奨励賞を受賞 高橋 是太郎(50食)
おしょろ丸就航100周年記念事業のご案内 原 彰彦(水産学部長)
第34回北大同窓ゴルフ大会～水産学部団体優勝！ 横山 清(35工)

新連載 部活動紹介「First now」

⑫

北水バドミントン部

⑬

荒川 洋(学生会員)
小笠原敏雄(22ギ)

⑭

追悼寄稿

墓碑銘 金澤幸雄君(22ギ)の人となりを偲んで

⑮

親潮インフォメーション

⑯

北水散歩／編集後記

⑰

※同窓会便りは別冊となっております。

お知らせ

おしょろ丸就航100周年記念事業のご案内



初代練習船「忍路丸」

明治40(1909)年2月に、初代練習船「忍路丸(おしょろ丸)」は三重県大湊町市川造船所において建造されました。以来、現在のIV世まで幾多の荒海越える航海を経て、平成21(2009)年は、初代建造の年から数えて100周年という大きな節目の年を迎えることとなりました。一昨年(2007年)は、学部創基100周年で皆様にはたいへんお世話になりましたが、本年もこれを記念し、おしょろ丸就航100周年を祝う各種の記念事業の実施し、その歴史や先人の苦労を振り返るとともに、来るべき「おしょろ丸V世」の新造に向け意を新たにし、水産学部附属練習船「おしょろ丸」の存在意義を確かなものにしたいと存じます。

どうぞ同窓の皆さんのお記念事業へのご理解とご協力をお願いいたします。

原 彰彦(水産学部長)

●記念事業に関する現在の計画・日程等、詳しい内容は10ページに掲載しております。

北水の 工 ル 事 情

特集

応援団&チアリーディング部

最近の若者には元気が足りない。
そのような声を耳にすることもありますが、
北水にはそんな心配を吹き飛ばす
エネルギーに満ちた学生たちが大勢います。
近年、活発に活動を行っている北水応援団と
北水チアリーディング部の2団体は、
そのイキイキとしたパフォーマンスで、
学内だけでなく地域からも注目を集める存在です。
今回は、多くの人に元気とパワーを届ける学生の姿と
活動にかける思いをお届けします。

※本特集の取材は、平成20年11月27日に行いました。



応援団編

数年前まで、ほぼ活動休止状態だったという応援団。復活に至る経緯から現在の活動までを、応援団幹部のみなさんにお話しいただきました。

**資料が頼りの復活
試行錯誤の連続でした**

一人団の動機は?

自分たちが函館に移行してきた当時は33代の高橋さんが一人で活動していました。雪の日も、毎日講堂の前で声出しする姿を目にして、そんなに魅力がある活動なのだと興味を持つて、2006年に35代として入団しました。でも、その5ヶ月後には高橋さんは卒業してしまい、直接の先輩と呼べる方はいませんなりました。

資料によると、33代以前の10年間くらいは団員不足に悩まされていました。

そのためか、多くの道具は傷んでおり、太鼓も旗もカビが生えているような状態でした。それをどうにかできないかと、磨くところから始めました。

**必要なのは気力と体力
鍛錬に励む毎日です**

山東 1現はどんな活動を?

荒井 団員は7名です。練習は日曜以外の毎日、昼休みに講堂前で行っています。あと週に2回、放課後の練習もあります。

山東 学ランや下駄は自分たちでも用意しましたが、受け継がれていたものは大切に使っていました。自分が着ている学ランの裏には、先輩方の名前がずらりと刺繡されていますよ。

残っていたビデオを何度も繰り返し見て覚えました。わからぬことを質問できる相手が少ないのが悩みでした。

荒井 函館在住の北水OBや応援団の先輩方に聞いたらしました。顧問の山下先生からは、団旗長にもかわらず、当時まだ旗がないくて、一度しか旗を揚げられなかつたというエピソードもお聞きしました(笑)。

山東 これまでに復活できた演舞は3つです。大変なことも多かつたですが、その分二つに思い入れもあります。

荒井 資料によると、33代以前の10年間くらいは団員不足に悩まされていました。

そのためか、多くの道具は傷んでおり、太鼓も旗もカビが生えているような状態でした。それをどうにかできないかと、磨くところから始めました。

厳しい練習があるからこそ、見事な応援ができるのですね

山東 長期の休みは全員参加の合宿もあり、今年は夏に厚沢部で行いました。

荒井 合宿では往復30キロのランニングも行い、深夜1時にキャンプ場をスタートして江差まで走りました。

山東 日本海へ昇る朝日を見ようということでの日出の時刻に着くように計算してスタートしたつもりが、日頃の練習の成果か、予定より早く着いてしまい、寒い中、浜辺で震えながら日の出を待ちました(笑)。

安倍 待つこと1時間半くらい。そのかいあって、今まで見たことのないキレイな朝日を見ることができました。いい思い出です。



腕章と団のバッジは、正団員の証。バッジは型もすこしなくなつており、2008年に復刻した。



山東 龍一郎
水産海洋科学4年
36代団長



安倍 健一郎
海洋生物資源化学科4年
36代副団長



荒井 彰平
水産海洋科学4年
36代団旗長

何よりうれしい言葉は
「北水生！」がんばつて
るね

— 最近は地域のイベントでも活躍しているようですね

山東 北水応援団の最大の目的は、函館ギャンバスの水産学部生を応援すること。それが自分たちの最大の目的だと思っているので、活動のメインは練習船おしょろ丸の出航式と帰航式、及び学内での活動です。しかし、北大水産学部がここ函館で創基100周年を迎えたのは先輩や地域のみなさんの支えがあったからこそなので、そのことへの感謝の気持ちを伝えられたらいいろいろな市民行事や地域の催しに参加させていただいています。

安倍 市民の方に感謝したり、理解いただくことは大切だと思っています。自分たちは練習で大きな音を出す事もあるので、その際には通りかかる方々へしっかりと挨拶をするようになります。

山東 そうしているうちに親しくなった方もいます。うれしい事は、「水産学部生、元気になったね。がんばってるね」って言われるようになりました。そういう機会は近く、向こうの応援団も喜んでくれましたし、つながりを作る意味ですごくいいきっかけになつたと思います。

荒井 今年、七帝戦の際に、札幌キャンバスの応援団と応援吹奏楽団の社行会を行いました。そういう機会は近年はなくて、向こうの応援団も喜んでくれましたし、つながりを作る意味ですごくいいきっかけになつたと思います。

山東 応援団OBの方々とのつながりを作るることは、我々現役のさらなる発展に結びつくと思っているので、先輩方との交流にも力を入れています。

荒井 ちょうど先日、第1回目の同窓会を開催させていただきました。

山東 3代の表さんを筆頭に、18名の先輩と一緒に、昔の活動なども聞くことができました。これからも継続できればありがたいと思う

えがあつたから、そのことへの感謝の気持ちを伝えられたら、いろいろな市民行事や地域の催しに参加させていただいています。

— 先日は函館支部の同窓会にも参加されたそうですね

山東 はい。人生経験豊富な先輩ばかりなので、さまざまなお話を聞いて楽しかったです。現役の学生もどんどん参加させていただけた良いと感じました。厳しい言葉をいたぐらもありますが、それだけ僕たちに対してもあります。困ったことがあるからOBの方々に、こいつらだから応援してやりたいと思われる存在にならなくては、改めて感じました。

安倍 伝統を重んじ守り続けるとともに、それに縛られ過ぎることなく、さまざまな事には、責任とプライドを持って誠心誠意取り組んでもらいたいと思います。応援団は原学部長をはじめ多くの方々に支えていただいています。その期待を背に、今後ますます活動に邁進していくもらいたいと思います。

ています。

北大水産学部。そんなふうになるといなど思います。

山東 伝統を重んじ守り続けるとともに、それには、責任とプライドを持って誠心誠意取り組んでもらいたいと思います。応援団は原学部長をはじめ多くの方々に支えていただいています。その期待を背に、今後ますます活動に邁進していくもらいたいと思います。

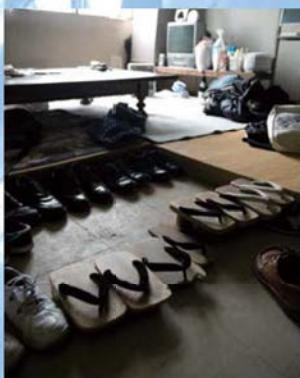
感謝と誇りを胸に
これからも前進します

— 今後に期待する事は?

山東 水産学部創基100周年記念歌を作成してもらいたいです。自分たちの代ではできませんでしたが、後輩たちにはぜひOBの方と協力してみんなで長く歌い続けられる歌を作つてほしいと思います。

荒井 後輩には、北水応援団というプライドを持つて、途切れることのないようがんばつてもらいたいです。それから、応援団だけでなく、北水生全体を一つにまとめあげるような活動を行つてもらえたらと思います。

安倍 「水産放浪歌」の歌詞の冒頭に「心猛くも鬼神ならず、男と生まれて情はあれど」とあります。勇ましくて、なおかつ周りの人へ情けを持った学生が北水に増えていく、温かい気持ちを持った学生が集まっている学部が



自分の家より落ち着く(?)部室。団員の憩いの場だ。

【第36代 北水応援団5か条】

- 常に北海道大学水産学部応援団という自覚を持つこと。
- 先輩は後輩の手本となるような行動をし、後輩は先輩の期待に応えること。
- 我々を支えてくれる全ての人に感謝すること。
- 大きな声で心をこめて挨拶をすること。
- 自分の言動に責任を持ち、何事にも全力で臨むこと。

北水応援団Webサイト
<http://circle.cc.hokudai.ac.jp/hsouendan/>

北水チアリーディング部編

函館の社会人チームの一員として活躍し、注目を集めている北水チア部。競技チアへの挑戦、その魅力や目標などを伺いました。



チアリーダーにはマナーの良さも求められる。「各チームにチームカラーがある、うちは黒と金。チームカラーを身につけている時は、特に行動に気を使いますね。」

社会人チームの一員として大会や地域のイベントなどで演技しています
現在はどんな活動を?
望月 現在北水チア部は単独ではなく、20名ほどが所属する競技チアの社会人チーム「函館BLACK SHINEYS」のメンバーとして活動しています。北水生は7名で、うち2名は男性です。

原田 以前は北水チア部として単独で活動していたんです。ただ、その頃は大会などには出ず、楽しみのひとつとしてやっていければ、という気持ちでした。

中村 チーム結成から3ヶ月弱で、初の大会、北日本チアリーディングフェスティバルに出場しました。

原田 メンバーの多くは競技チア未経験者だったんです。でも、河井さんが技術と気持の両面で引っ張ってくれたおかげで、上達はとても早かったです。

中村 河井さんは今は函館にいらっしゃらないのですが、連絡は取らせていただいています。本当に大きい存在ですね!

一大会に出た感想は?

中村 エキシビションという、点数や順位のつかない部門での出場でしたが、すごく楽しかったですね! 今年は北日本チアリーディングフェス

ー競技チアに取り組むようになったきっかけは?

原田 函館にたまたま元日本代表選手だった河井卓弥さんという方が住んでいたんです。

その方から、「函館の社会人チームとして、一緒にやってみないか」と声をかけていただききました。それで、せっかくチームを結成するなら大会にも出ようという話になつたんです。

中村 チーム結成から3ヶ月弱で、初の大会、北日本チアリーディングフェスティバルに出場しました。

原田 チーム結成から3ヶ月弱で、初の大会、北日本チアリーディングフェスティバルに出場しました。

私たちの目標です
「地元に愛されるチーム」が

今後はどんなことに取り組んでいきたいですか

中村 チーム結成時の目標が、「函館に根いたチームになること」なんです。だから、大学生だけでなく、高校生や社会人など、市民の方にもっと参加していただきたいと思ってます。

原田 競技チアでは人を乗せたり飛ばしたりといった技がありますが、意外と1ヶ月くらいができるようになるので、未経験でも大丈夫です。チアは女性の競技と思われがちですが、そんなことはありません。技に力強さが出るので、男性にも参加してほしいですね。



チーム名は函館の夜景をイメージして命名。

練習は週に3回、水産学部の講堂や教育大の武道館などで行っている。

函館BLACK SHINEYSブログ
<http://ameblo.jp/b-shineys/>

望月 理生
海洋生産システム学科3年

松田 沙織
海洋生物科学系3年

張間 千鶴
海洋生物学系3年

中村 友香
海洋生物資源学科4年

原田 麗子
海洋生物資源科部門修士1年

原田 麗子
海洋生物資源科部門修士1年

ステイバルの本選と北海道チアリーディング選手権大会のエキシビションに出場しました。

張間 大会以外でも、市内のホテルや企業のイベントなどで演技させていただいています。市民のみなさんから笑顔や拍手をいただくとうれしくて、逆にこちらが元気をもらえますね。

一かわいらしいイメージですが、意外にハード? 結構マッスルですね。でも楽しい(笑)。

松田 華やかそうですがアザも絶えない、結構マッスルですね。でも楽しい(笑)。

応援から生まれたスポーツといふことに

もあり、大会でも、勝ち負けよりも会場全体を盛り上げることを大切にします。他のチー

ムとエールの送り合いをする喜びや楽しみはチアにしかない魅力ですね。もちろんいい演技ができた時には大きな感動があります。

望月 他のスポーツではできないような経験ができるので、今までにない新鮮さを感じられると思います。

松田 周りの人も、自分自身も元気になるのがチアの良さ。函館に愛されるチームをめざして、これからもがんばっていきます。

有機化学の知識と 香りに対するセンスが要求される仕事

花王(株) 引地 聰 56才

私は北海道北見で生まれ育ち、北大に進学しました。水産学部では旧生体高分子化学講座に籍を置き、修士課程を終了後、花王(株)に就職しました。就職後、いつの間にか四半世紀が経りました。

私は入社以来、香料の開発研究を貟して行っています。花王(株)では、一年間に数百の改良品を含む新製品を発売していますが、そのほとんどの製品には香料が配合されています。家庭製品用香料開発には有機化学の知識と香りに対するセンスが要求されますが、私の大学院での専攻分野は生体高分子であり、一枚貝平滑筋収縮に関する生化学的研究でしたので、全く関連性のない分野でした。

●1000種にも及ぶ香料素材の中から
数十種類を選び、調合香料を開発するための香りの評価を行う。

そのため、入社時には大きな不安がありました。家庭製品用香料開発には有機化学の知識と香りに対するセンスが要求されますが、私の大学院での専攻分野は生体高分子であり、一枚貝平滑筋収縮に関する生化学的研究でしたので、全く関連性のない分野でした。

花王(株)のよう、消費者向け製品の製造販売を行う会社での研究活動で大事なことは、専攻分野の科学的知識・研究経験はもちろん大事ですが、それに加えて、科學一般・創造性(例えは芸術など)、そして人間(心理学など)に対する興味を持つことです。また、世界の大手企業と競争しているので、グローバルな視野も大事です。

これからも、社会に貢献できる製品を通じて快適な香りを提供していくたいと思っています。



●香料開発研究所長として、花王(株)
の全ての香り開発をマネジメントする。

社会で活躍するOG・OB good job グッジョブ!

浜の人々と苦楽と共に…… 普及指導の原点は「人づくり」です

北海道立栽培水産試験場 中尾博己(51才)

瀬戸内海に面する山口県の工業都市から、「北」というクリーンなイメージに惹かれ北大に進学。大学生活は、経済的な理由から恵迪寮・北辰寮で過ごしました。当時は学生運動が激しくストライキ・ロックアウトがしばしばで、まともに授業が多く、バイトに精を出していました。しかしクラスメート・寮友との交流は大切にしていましたので、今ではとても大きな財産となっています。

卒業後は一時帰郷して漁連に入りましたが、再び進路を北に取り、北海道の水産業改良普及員となり、道北・道南・道東に勤務し、浜の人々と苦楽を共にする体験をさせていただきました。

普段ははつきり言つて漁師さんの味方

です。仕事内容は先進的な増養殖や資源管理技術を直に漁業者へ指導し、科学する漁業者を育てようとするものです。これまでの最大の成果は何と言つてもホタテガイ増養殖です。北海道最大の漁業に育ちました。

この他、「コン・ウ・アワビ・ヒラメやニシン・幻の魚のマツカワ」そして高騰するナマコなどの栽培漁業の指導を展開しています。個人的には藻場の再生やヤリイカに取り組み、うまくいったときの漁業者の笑顔を見ると達成感に浸れるのです。

北海道では普及員115名の約3割が同窓の方で、日夜現場などで地道ながら積極的な活躍をしていただいている。今、私は水産試験場で行政や研究部門と連携を

●ホタテガイの付着物問題について
対策を講じるため、部会長から現場にて直接現状を聞き取り、調査を行う。



●栽培水産試験場の一般公開の時。一般市民の方に広く水産に理解と关心を得るために、ホタテガイ養殖方法を分かりやすく説明する。



団りながら普及活動の旗振り役をやつていますが、普及指導の原点は「人づくり」です。技術指導を介して漁村の活性化に寄与したいと思います。

若い将来、食糧確保・食糧安保が問われることなく、共に栄え、世界をリードする漁業に大きく発展してくれるよう、北水のフロンティア溢れる力に期待を寄せたいと思います。

鴨川シーワールド

荒井一利(54歳)



●「海の王者」シャチとともに

鴨川シーワールドは、「海の世界との出会い」をコンセプトに1970年にオープンし、水生生物との出会いを通して、命の大切さとふれあいのすばらしさを感じるとともに、水生生物に関する知識と自然環境との関わりあいを楽しむことができる参加型機能を有した民間の水族館である。千葉県鴨川市の大西洋に面した全長約1.6km、総面積3haの敷地に、「水の一生」をテーマとした「エコ・アクアローム」、熱帯の珊瑚礁を再現した「トロピカルアイランド」の2つの魚類・無脊椎動物展示施設、ウミガメ類展示施設「海亀の浜」、シャチ展示施設「オーシャンスタジアム」、イルカ類

展示施設「サーカステンシアム」、ベルーガ

(シロイルカ)展示施設「マリンシアター」、イルカ類・鰐脚類・ベンギン類・ラッコなど

の展示施設「ロッキーワールド」などの施設があり、生物の展示方式は、エンターテインメント性に富んだアトラクション的展示と自然環境を再現した生態展示を中心構成されている。

1979年に水産動物学講座を卒業し、怠惰な貧困学生だったため卒業間際まで多くの単位を残し、多くの先生方をはじめとして、医務室や事務の方々には相当迷惑をおかけした。特段就職意欲もわからず、大学院に進学する能力も経済的余裕もなかつたため、ただアザラシが好きという単純な動機でアザラシの飼育係になるべく就職をした。動物の生命を献身的に守るという飼育業務は多忙を極め、肉体的にも精神的にも疲弊し安易にこの職業を選んだことを悔やんだ時期もあったが、多くの動物たちの飼育を通じ、さまざまな発見をするとともに生命のぬくもりや誕生の喜びに接するうちに、その魅力にとりつかれ動物たちから離れられずに今日まで過ごしている。専門は海生哺乳類、多くの同窓の皆様に支えられ、北大水産学部出身ということを心の支えにして30年が経過した。

全国水族館・博物館だより

北海道大学総合博物館

今村 央(63歳)

北大函館キャンパスには20万点を超える魚類標本があり、2007年に北大総合博物館の分館となった水産科学館(旧水産資料館)で保管されている。私は海洋生物学講座の魚類体系学分野(旧水産動物学講座)を卒業し、魚類の系統分類学を専門としている関係から、札幌キンバパスに勤務する他の博物館教員とは異なり、函館の水産科学館で働いている。

博物館の主な役割には、標本の維持・管理や、展示などによる一般への教育啓蒙活動などがある。標本の維持・管理は、標本瓶にアルコールを補充したり、データベースにデータを入力するなど、決して目立つことのない仕事だ。しかしこれを怠ると、標本が乾燥してしまい、その価値が大きく損なわれたり、調べたい時に肝心な標本が見つからないことがあります。

標本作成作業の風景

るため、地道ながらも軽視できない。展示は観る側にとっては楽しいものだが、作る側にとっては大変な仕事である。予算の関係から、水産科学館では展示作製を専門の業者に依頼することはなく、ほぼ100%が手作り。展示ケースの設計、アクリル板を電動ノコギリで切り出す作業など、他の大学教員がやりきれない仕事を多く、苦労することもある。しかし、自分が手がけた展示をご覧になった来館者に「とても興味深かった」などと言つていただけると、苦労が報われた気持ちになる。

博物館活動の他、水産学部・水産科学院の学生の皆さんのが教育・研究の指導にも携わっている。人に何かを正しく伝えることは非常に難しい反面、強くやるがいを感じる。また、私の専門分野は、世界的に研究者の数が減少しているため、後継者を育てるという意味でも非常に重要な職務だと考えている。

研究や他の仕事で、海外に出かけることも少なくない。論文を書いたり、外國人とメール連絡をする時もそうだが、海外に行くと英語の重要性を特に強く感じる。研究も重要だが、国際的な研究を行ふためには英語も重要。チャンスがある時はいつでも国際舞台へ羽ばたいていくよう、日頃から英語力を鍛えておくことを、研究者を志す現役学生の皆さんにお勧めしたい。



●筆者
(オーストラリア博物館にて)

学生発~

Hello! 研究室

水産油脂の新機能開発

高橋是太郎(たかはし これたろう)先生

海洋応用生命科学部門教授(博士・水産学)。1979年に北海道大学水産学部に助手として採用、1986年より同助教授、1996年より現職(同教授)。岩手県出身。



高橋是太郎先生は、脂質化学と水産利用化学の知識と技術を基盤として、水産動物に含まれている物質の機能を探索・解明し、その利用用途を開発する研究を行っている。昨年度の第42回日本油化学会学賞を受賞されたことからも分かるように、「これらの研究は国内外問わず高く評価されている。

大曲亜矢子「こんにちは。私たち海洋生物学資源化学科マリンバイオテクノロジーコースの4年生です。先生とは同じ学科ですがコースが異なるため、お話を聞くチャンスはありませんでしたので、緊張しています。

武越綾子「先生の授業を受けていたのですが、

このような形でお話ををする機会がなかったので、楽しみにしてきました。

櫻木英恵「今日はよろしくお願ひします。

徳永裕子「いつも先生には、合気会合氣道部の顧問としてお世話になっています。

高橋是太郎「どうぞ、よろしく。

水産物のリン脂質がもつ可能性

櫻木…先生の主な研究は?

高橋…大きく分けると二つ。リン脂質に関わるものと、水産物のコクに関する研究です。

大曲…研究を進める上で心がけていることは、ありますか?

高橋…これは、同じ研究室の栗原先生も同じ考えですが、未知の物質でも既知の物質でも、

水産物に含まれている機能をもつ物質を明らかにしたいということです。ありふれた構造でもその利用価値が知られていないものが多いのですが、それを引き出すことが我々の研究の目的ですね。そのひとつとして、先ほどあげたリン脂質があります。

武越…どのように利用するのでしょうか?

高橋…リン脂質は、細胞膜と同じ物質で構成されているので、水の中で自発的にサブミクロンのカプセルを自然に形成します。その中に、いろいろな機能性物質を入れると、新しい機能を出したり、体内で効率的に吸収されやすくなる可能性が考えられます。

徳永…リン脂質の研究は大豆などでもよく行われていると聞きますか?

高橋…これまでに大豆や卵黄で特によく研究されています。私が研究している水産物のリン脂質は、これまでのリン脂質とは異なる構造や性質をもつことが分かつきました。特に

水産物では、未利用の資源がたくさんありますよね。例えば、イカやホタテの非可食部位や

食用にされていない魚卵とか。そのようなものを有効利用することも我々の重要なテーマです。実際、それらの中には有用な成分がたくさん含まれています。

英語力はアメリカンボップスから

武越…先生は英語がとてもお上手ですが、どちら勉強されたのでしょうか?

高橋…特に留学とかはしていないので、独学ですね。小さい頃からアメリカンボップスをよく聴いていたので、その影響もあるかな。

徳永…どんな曲をお聴きになるのですか?

高橋…主に1950-60年代の曲です。当時はLPレコードですよ。ボール・アンカとか。

今の学生さんはあまり知らないでしょう。

大曲…ビートルズはどうでしょうか?

高橋…聴きますよ。昨年の11月に、調査でビートルズの故郷のリバーポールに行きました。

いたのですが、いろいろあって行けませんでした。櫻木…海外では魚貝類はよく食べられているのでどうですか?

高橋…昨年の2月にドイツのハンブルグに行つたんですが、空港に寿司屋があつて驚きました。ドイツだとハムやソーセージのイメージが強いですが、魚の消費量もすごいですよ。この流れは世界的なものだと思います。

徳永…健康志向ということでしょうか?

高橋…そうですね。最近そういう流れになつてきていますね。実際、すり身の需要も年々

いただき、ありがとうございました。

【インタビューその後】

大曲…英語を独学で勉強して会話ができるようになつたという話に感激!! しました。

武越…話がとてもお上手で、時間があつという間に過ぎ去ってしまいました。

徳永…学生時代の話が印象的でした。合気道部をこれからもよろしくお願いします。



インタビューを担当した学生たち ●後列左からで左から、武越綾子(海洋生物工学分野4年・旧高分子化学)、大曲亜矢子(生物資源化学分野4年・旧魚油化学)、櫻木英恵(安全管理生命科学分野4年・旧化学生工学)、徳永裕子(海洋生物工学分野4年・旧高分子化学)

栗原秀幸氏が
日本農芸化学会北海道支部
奨励賞を受賞



高橋 是太郎 (50食)

栗原秀幸氏(特別会員)がこの度、「北海道産植物のポリフェノール類及び機能性物質に関する研究」という研究業績で、平成20年度の日本農芸化学会北海道支部奨励賞を受賞致しました。

同氏は、北大の農学研究科時代に野生物植物中のポリフェノール成分の構造および生理活性に関する研究を行って、複雑な構造の新規抗菌性化合物を複数単離同定致しました。その後水産学科に移つてからは海藻植物成分を研究対象として、海藻中から好ましい食品機能性を有するポリフェノール類の単離同定とその活性について詳細な研究を進め、海藻生物由來の生理機能成分に関して幅広い研究を展開しています。その成果は内外の学術誌に掲載されて高い評価を得ているところです。

同氏の研究は、海藻からの酵素阻害性プロモーフィール類のみならず、フロロタニン及びグリセロ糖脂質の酵素阻害に関する功績も顕著であり、それらの構造活性性相関や阻害様式の解明は、海藻の種々の健康性機能に対して確かな工

ています。同氏の研究は海藻の利用化学の面のみならず、学術的な面においても、新たな学問領域の発展につながるものとして、これから益々その重要性が増していくことでしょう。今後二層の進展が期待されます。

おしょろ丸就航100周年 記念事業のご案内

原 彰彦(水産学部長)

おしょろ丸就航100周年記念事業は、記念行事と記念誌などの発行のふたつにわけて考えています。現在の計画は以下のようなものがあります。

1. 記念行事

- (1) 写真パネル展
- (2) 写真コンテスト(同窓の方の応募も期待しています)
- (3) 一般公開
- (4) 記念式典及び船上レセプション
- (5) 東京寄港(「おしょろ丸」開催)

第34回北大同窓ゴルフ大会 ～水産学部団体優勝！～

北水同窓会会长 横山 清(35才)

なお、一般公開・記念式典は、本年が函館開港150周年とも重なり、8月



▲向かって左より宮下(52才)、横山(35才)、武内(49才)

8日～16日に「函館開港150サマー ジャンボリー」が開催されますので、その頃を開催候補日に挙げております。記念事業の財源は学部創基100周年記念事業寄付金積立、一般財源(学部広報宣伝費、今後のフロンティア基金(水産学部(おしょろ丸100周年)あて)などを考えています。詳細な事業内容とスケジュールが決まりましたら、次号および随時同窓会ホームページでお知らせいたします。どうぞ今後とも皆様のご支援をお願いいたします。

食品工場・厨房内の自主検査のお手伝いをします。 HACCP・ISO導入指導及び検証・評価・改善指導

★食品の微生物検査 ★施設類・道具・器具類の拭き取り検査
★食品・副資材・調理室の微生物の除殺菌テスト ★食品の賞味期限の設定
★保存テストのデータ蓄積 ★その他衛生指導、社員教育などご相談をお受けします。

株式会社 キュー・アンド・シー

代表取締役 奥野 和弘 昭和42年製造 松原 伸二 昭和62年卒業 久保 雅俊 平成12年卒業 佐藤いく子 平成17年卒業

分析室 〒065-0026 札幌市東区北26条東22丁目6-7 TEL.011-786-8300 FAX.011-786-8266
URL <http://www.qandc-lab.com/> E-mail haccp@qandc-lab.com

部活動紹介



現在、部員は約30人。札幌キャンパス時代に体育会・サークルに所属していた者から、函館キャンパスへ移行してから競技を始めた者とさまざまです。函館キャンパス内体育馆にて週3回の活動を行っていますが、

その他の年間行事も活発です。部内紅白戦、花見、新入生歓迎会、卒業生送別会などのイベントを催し、大学院生・OBとの交流の機会ともなっています。

学外における活動としては、函館市および北斗市主催の競技大会への参加が挙げられます。ここ数年、大会ではいま一歩という戦績でしたが、最近、部内競技レベルの向上により優秀な成績を収める部員が見られるようになりました。今年度7月には、部内の一一番手が、第6回北海道選手権バドミントン大会函館地区予選会(一般男子单)を制覇するにいたりました。このほかにも、多くの部員が大会に参加し、入部してから競技を始めた部員の健闘も多く見られるようになりました。



また、今年度10月には、札幌キャンパスから移行してきた学部2年生が、新入部員として大勢入部しました。バドミントン経験者が多く、部の活性化はもちろん、大会での活躍が大いに期待されます。

昨年度からの主な戦績(平成20年10月現在)

- 第32回函館地区春季一般バドミントン大会(平成19年4月):2部男子単準優勝(武田圭史)、同3位入賞(全先清博)、同複優勝(稻川亮・前多隼人)
- 第2回北斗市民バドミントン大会(平成19年7月):Bクラス男子複準優勝(原田一樹・武田圭史)
- 第59回函館地区バドミントン選手権大会兼加藤杯争奪バドミントン大会(平成19年9月):一般男子単優勝(荻野隆宏)
- 第2回北斗市クラブ対抗バドミントン大会(平成19年11月):Aクラス団体戦3位入賞(北水A)、同Bクラス準優勝(北水C)
- 第33回函館地区春季一般バドミントン大会(平成20年4月):1部男子複4位入賞(稻川亮・荻野隆宏)
- 第6回北海道選手権バドミントン大会函館地区予選会(平成20年7月):一般男子単優勝(荻野隆宏)
- 第3回北斗市民バドミントン大会(平成20年7月):Bクラス混合複準優勝(佐野裕章・谷藤久恵)
- 第35回道南バドミントン大会(平成20年8月):2部男子複優勝(武田圭史・桑田勝也)

北水バドミントン部

平成20年度 部長 荒川 洋(学生会員)



る大会です。

私は大会会長を仰せつかりますが、水産学部が優勝したのは私を含め皆さんの記憶にもなく、大変な快挙であることは間違いありません。また、年代ハンディ別に分かれて争われる個人戦においても、町野剛さん(43才)が優勝を果たされました。

出身学部に関係なく、70代や80代の

諸先輩が元気溌剌としてプレーする姿に毎年感激していますが、一時200名を超えた参加者が、ここ数年は減少傾向にあり、特に若い世代の参加が少ないことが課題となっています。

私と町野さん以外の参加者は次のとおりです。

平野亮(35歳)、川村徹雄(41才)、高橋英明(44歳)、達本文人(48才)、武内良

雄(49才)、齊藤昌宏(51才)、宮下晃一(52才)、柳川延之(52才)、山本雄二郎(57才)、山口修司(61才)

今年は第35回と節目の年でもあります。是非とも200名以上の出席者を迎えて、2連覇を達成したいと考えていますので、皆さんのご参加を心よりお待ちしております。(8月3週目の日曜日を予定)

いま豊かな食生活。
見直しましょう魚のある暮らし。

青森市中央卸売市場

中水

青森中央水産株式会社

代表取締役社長 石川栄一

〒030-0183	青森市卸町1番1号
鮮魚部	TEL 017(738)1281
冷凍部	TEL 017(738)8221
塩干部	TEL 017(738)5511
加工部	TEL 017(738)6581
企画部	TEL 017(738)1281
管理部	TEL 017(738)1181

ホームページ <http://www.aochuu.co.jp>

墓碑銘

金澤幸雄君(22ギ)の人となりを偲んで

小笠原敏雄(22ギ)

級友金澤幸雄君が平成二〇年九月二日死去、享年83歳。お通夜の前、金澤君のお嬢さんがお棺の窓を開けて、父の顔を見て下さいと言われ、参列していた同期の者達と拌顔した。真丸のふくらみとして椅麗な顔、慈愛に満ちた大仏さんの顔であった。

お清めの席に移り、同期同窓の所縁(エカリ)の人と共に彼を偲んで大いに飲み一杯し続けた。

昭和十九年入学して間もない六月に援農(勤労奉仕)で金澤君と同じ農家に泊まり濁酒(ドブロク)を飲んだ、これが二人が初めて飲んだ酒であり、それから彼と本当の付合いが始まった。

思い起こせば一年の全寮制北辰寮の厳しい生活もあった。昭和二〇年三月から六月まで漁撈科全員が北方四島の国後(クナシリ)島と歯舞(ハボマイ)の志発(シボツ)島に別れてタラバガニ漁業実習の名のもとで勤労奉仕に出かけた。金澤君と私はペアで同じ船に乗り、毎日午前二時頃から叩き起され苛酷な労働に従事した。その中でも調査報告書を一人で就筆、その報告書は今でも学校に残っている。実習の最終日、学生のみの編成で(船頭、機関長を除き)一隻航海を願い出て実現された。私はボースン役、故石瀬和正君がナンバン役等夫々



●金澤幸雄氏と奥様

お陰で札幌北大ブールで我が校は高得点で優勝。平野監督の獅子奮迅の戦いは勿論であるが、監督と選手の間にあって時に励まし、時には慰め、話を良く聞き調整する裏方さんの仕事を黙々と遂行した金澤君いてこそ勝利を得たものと思う。

卒業式も間近にある日、漁業科の離散会を湯の川温泉の旅館で、大先輩齊藤一郎

役割を決めた、そして誰も嫌がる飯炊(メシタキ)役(炊事当番)は、よし俺がやつてやろうと名乗り出たのが金澤君であった。飯炊(メシタキ)は船では漁夫の中でも新米が担当し、文句ばかり言われ、「一番はじめられ役なのである。この日の船で食べた御飯は旨かった。タラバガニの混ぜ御飯、それにカニの肝臓と海水を入れて炊き直す、この配分がコツのことだ。みそ汁もカニの鉄砲汁、何處から仕入れたのか貴重な野菜も沢山入っていた。お陰で一同は金澤君の腕に信心をもつて、お陰で一同は金澤君の腕に信心をもつて、樂しんでつらい三ヶ月の実習の最後を飾つたのである。

昭和二十二年九月、戦時中は中止されたいた北海道大学高専の体育大会が復活、水泳大会の日程発表と同時に故平野敏和さん(22ギ兵役後復学同期となる)が自ら監督となり、昔取った杵づかどもを集めた。私もその「員となつたが、平野監督はマネージャーとして泳ぎの下手な金澤君を起用した。彼の面倒見の良さが買われたのだ。語り草となつていて、若しこの企画に金澤君が居なかつたらどうなつたか、恐らくこの離散会は出来なかつたと思う。あのニコヤカな丸顔での交渉力に相手は「コロ」とある。

卒業後金澤君

が世に出て、全鮭連(全国鮭鱈漁業協同組合連合会)の専務理

事として、サケマス漁業の安全操



●湯の川温泉にて…金澤氏(向って左)と筆者

豊富な実績と万全な体制でさらに前進をつづけます。

NAKAYAMA MEDICINES CO. LTD



株式会社 中山薬品商会

代表取締役社長 中山浩一

本社 〒040-0075 函館市万代町20番10号
PHONE (0138) 40-6275・FAX40-3939
釧路営業所 〒084-0903 釧路市昭和町2丁目15番地3
PHONE (0154) 52-4104・FAX52-4103
<http://city.hokkai.or.jp/~nakayama/>

金澤君はこんな人柄の人物だった。
金澤君は安らかに眠り給え

平成二〇年一〇月、北水38期の「五回目の同窓会」を松山市道後温泉で開催した。前もって同期七〇名程の近況報告があり、その中で金澤君の一文は奥様の代筆であったが、「迷惑をかけずに生きられません、迷惑のかけ放しです。…中略…素直な気持ちで迷惑をかけあって笑顔で感謝しながら生きていきましょう」と。更に私のことを足腰は？煙草は？と逆に心配してくれた。彼の絶筆だった。

業、他漁業との調整、鮭鱈基地漁業の死守に奮闘。更に特筆すべきは北海道貝殻島のコンブ漁の再開であった。自分の仕事の専門外ながら、日ソ交渉の団長に選ばれ零細漁民のために一生懸命であった。強行姿勢を崩さないソ連に対し、訪ソすること十回余り信念を曲げない交渉に遂に、ソ連側は彼の情熱に屈し、無事交渉は成立した。

前述の通り学生生活の彼の素養は更に磨かれ、大任を果たしたのである。

これ等の功績に対し、大日本水産会、北海道知事から表彰されたが、昭和五十九年十一月三日、皇居「春秋の間」で天皇のお言葉と共に藍綬褒章受章の榮に浴したのである。



●登校途路…金澤氏(向って右)と筆者

親潮インフォメーション

学位取得者と論文題目

- 三宅 博哉／音響学的手法を用いたスケトウダラ北部日本海系群の資源動態評価と産卵場形成に関する研究
- 佐藤 純／クルマエビのホワイトスポット病(WSD:white spot disease)の防除対策に関する研究
- 望月万美子／ニジマスの伝染性造血器壊死症(IHN)耐病性系統作出に関する研究
- 小谷 健二／Phylogenetic Systematics of the Family Percophidae (Order Perciformes) (ホカケトラギス科魚類の系統分類学的研究)

寄附について

北水同窓会へご寄附をいただき、「大学院水産科学研究院教育研究・学術交流支援基金」へ繰り入れましたので、ご報告するともに厚く御礼申し上げます。
「北水二三会」様(23ギ)より 平成20年6月2日付
大山嘉則様(61ギ)より 平成20年12月18日付

74,984円
5,000円

会員死亡通知

今井 尚信(10ギ)	平成19年10月 7日	ご家族様より
池田 正三(13ギ)	平成18年11月	ご家族様より
納富 正(15ギ)	平成20年 7月17日	ご家族様より
酒寄 淳見(16ギ)	平成19年 9月23日	ご家族様より
馬場 富雄(18セ)	平成20年12月 8日	海老名 稔(30セ)様より
三島 清吉(19ギ)	平成20年 8月11日	学内より
岡田 幸介(19セ)	平成20年12月 6日	森 有意(19セ)様より
江刺家郁朗(20セ)	平成20年 9月 5日	函館支部様より
友近 忠夫(20ノ)	不明	大阪支部様より
金澤 幸雄(22ギ)	平成20年 9月12日	島崎健二(33工)様より
見原 徳望(22ノ)	平成20年 8月11日	市川 渡(22ギ)様より
石館 義雄(23ギ)	平成20年 1月	松本昌也(23ギ)様より
池田 吉晴(23セ)	平成20年 6月26日	ご家族様より
青柳 和雄(24ギ)	平成15年12月23日	ご家族様より
木村 義徳(24ギ)	平成20年 5月15日	ご家族様より
遠藤 四郎(25セ)	平成20年 6月10日	ご家族様より
阿部 良治(26セ)	平成20年 4月15日	ご家族様より
茄子川郁夫(28工)	平成20年12月 5日	田中 修(28セ)様より

橋本 志朗(29ギ)	平成20年11月 1日	柴田一行(30工)様より
山中 豊(30工)	平成20年 1月21日	古田部 格(30セ)様より
相坂 恒夫(31セ)	平成20年 5月13日	ご家族様より
竹田 正之(31セ)	平成20年10月12日	羽田野六男(31セ)様より
麻谷 良徳(32工)	平成20年 8月23日	ご家族様より
平野 亮輔(32セ)	平成20年10月19日	ご家族様より
川村 皓二(33ギ)	平成20年 8月10日	小川平吾(33ギ)様より
藤田 平悦(34ギ)	平成20年11月22日	菊地英樹(34工)様より
柳 征一郎(36ノ)	平成20年11月19日	松井 彪(36ノ)様より
浅野 駿(39セ)	平成20年 1月28日	林 賢治(39セ)様より
永田 章一(40工)	平成20年11月24日	米田国三郎(40工)様より
寺地 斎(43食)	平成20年 8月10日	田島研一(43食)様より
加藤 正幸(45ギ)	平成20年 7月31日	ご家族様より
高橋 政光(52食)	平成19年 8月	阿部介男(45化)様より
中秋 勝彦(52食)	平成20年 8月30日	勤務先より
成田 匠優(54ギ)	平成19年12月28日	ご家族様より
高 日出人(56ノ)	平成20年11月26日	北海道新聞より

(有)山本食品研究所

山 本 巖
山 本 津 彦

〒914-0812 福井県敦賀市昭和町2丁目2316番地

T E L (0770) 23-0297(代)

F A X (0770) 24-2882

E-mail y-f-labo@angel.ocn.ne.jp

【厚生会館】

北水散歩



▲撮影／間篠智恵子(海洋応用生命科学専攻 修士課程)

現在の厚生会館は、昭和53年に設置された。正面入口の「厚生会館」の文字は、水産学部の石原義雄教授(当時)によって書かれたものである。厚生会館といえば、学生生活の強い味方である大学生協を思い出す方が多いであろう。生活を栄養面で支えてくれた学生食堂、そして文具、書籍、食品などが買える購買には誰もが足を運んでいる。現在は、1階に生協食堂、2階には購買や保健室などがあり、時代が変わってもその役割は変わっていない。かつて喫茶フィッシャリーで仲間と語り合ったり、2階の理容室に通った諸兄も多いことと思われる。現在はいずれも閉店し、それぞれ学生ラウンジ(写真小)とカウンセラー室に変わっており、時代の変化を感じさせる一面もある。



編集後記

平成20年度「親潮」第2号(通算292号)をお届けいたします。本号では、北水応援団を特集として取り上げました。同窓生皆様の学生時代の応援団と変わらぬ様子だけでなく新しい時代に向けての意気込みや姿勢なども伝われば幸いです。また、最近活動を開始した北水チアリーダー部も歴史は浅いですが紹介しております。チアリーディングの華麗かつ激しいアクロバティックなアクションは一度ご覧いただければ驚かれるかもしれません。どちらの団体も水産学部内にとどまることなく、学外のいろいろなイベントにも積極的に参加しています。

本号から新連載として在学生による部活動紹介のコーナーも始まりました。ご自身が所属されていた部の紹介を心待ちにしていただければと存じます。

前号に引き続き同窓生の皆様からたくさんのお投稿をいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。紙面の都合により、大部分は別冊号に掲載させていた

だいでおりますので、本誌と合わせてご覧ください。

次年度第1号(通算293号)の原稿締め切りは、平成21年7月11日(必着)です。寄稿につきましては郵送もしくは電子メール(hokusui@hotweb.or.jp)にて受け付けております。今後も多くの原稿をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

(編集幹事／山下成治)

親潮投稿規定

[寄稿]

一つの投稿につきA4版・1ページ(2000字程度)とする。この制限以上の長文あるいは連載を希望される場合は2号分までとする。写真を入れる場合、その分の文字数が減る。また、写真はホームページに掲載することもできる。

[支部・会員たより、会員の受賞、ご案内など]

一つの投稿につき600字程度とする。写真を入れる場合、その分文字数が減る。写真はホームページに掲載することもできる。なお、掲載の可否および掲載号については編集部が決定する。

また、誌面の都合上、投稿された文章を編集部で再編集する場合がある。

水産学部図書館に水産学部年譜などのパネルを展示

水産学部図書館の階段室にピクチャーレールが設置され、水産学部創基100周年の歩みや往時の校舎風景などを紹介するパネルが展示されております。今後は、さまざまな教育・研究成果なども展示する予定です。水産学部にお立ち寄りの際には、ぜひご高覧いただければ幸いです。



北水同窓会誌「親潮」への広告のお願い

事務局では、同窓会誌「親潮」への広告を募集しております。

広告料金1年分(2号分)は以下のようになっています。

1.表紙3または表紙4(裏表紙両面) 2.記事下広告

全ページ	80,000円	1/4ページ	20,000円
1/2ページ	40,000円	※広告料金には、原稿制作費及び	
1/4ページ	20,000円	消費税は含まれておりません	

広告のお問い合わせ

北海道大学水産学部同窓会
tel/fax:0138-42-3681
e-mail:hokusui@hotweb.or.jp

食文化の急速な国際化に伴い水産総合商社を目指す道水



株式会社 道 水

代表取締役会長 高野洋藏

(昭和24年製造科卒業)

代表取締役社長 高野元宏

水産物卸売及び加工販売、水産物輸出入、冷凍冷蔵倉庫、不動産賃貸業
本社 函館市豊川町27番5号 TEL(代)0138-22-7136 FAX 0138-22-3777
事業所 はこだて工場(北斗市)
東京・札幌・長岡・韓国釜山

●ベルソーフックス030

美しく不思議な生き物、クラゲ。その美しさとは逆に日本周辺に被害をもたらす種類も存在。そのやっかい者の生態から、対策・利用法を探る。その他17種のクラゲについても紹介。

エチゼンクラゲとミズクラゲ—その正体と対策—

安田徹著 四六判 192頁 定価1680円(発送費340円)

第1章 不思議な生き物～クラゲ

第2章 ミズクラゲ～海面を覆うUFO～

第3章 エチゼンクラゲ～世界最大級のやっかい者

第4章 クラゲが海を埋め尽くす日～被害の実態～

第5章 クラゲ戦線異常あり～対策から利用法まで～

VERSEAU BOOKS

エチゼンクラゲとミズクラゲ
—その正体と対策—



成山堂書店

*水産関係図書出版 成山堂書店

〒160-0012 東京都新宿区南元町4-51 成山堂ビル
TEL03(3357)5861・FAX03(3357)5867
<http://www.seizando.co.jp> E-mail:order@seizando.co.jp

「水産図書案内」
「各内容見本」
「無料進呈」

海洋土木株式会社

奥尻町稻穂沖 ミズタコ産卵礁オクトム



代表取締役 小関良二
取締役相談役 鈴木和三 (38才)
常務取締役 真田篤弘 (48才)
青森営業所長 青山禎夫 (39才)
札幌支店長 川眞田憲治 (48修増)
札幌支店部長 村井和明 (59才)
技術部課長 日和久典 (平6才)



オクトム



FP魚種

利尻富士町鬼脇沖 FP魚礁に棲むホッケ



本社：東京都中央区銀座3-8-13
TEL：03-3561-3051
<http://www.kaiyodoboku.com>

交通、医療、労働災害事故・会社再建、倒産
サラ金破産、債務整理・個人再生・相続、遺言

法律相談
30分 5,250円
サラクレ相談無料

吉原法律事務所

札幌弁護士会 弁護士 吉原 美智世
(昭和 48 年増殖学科卒業)

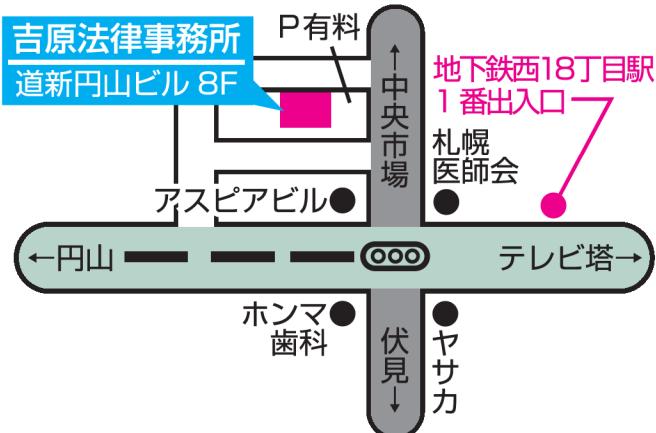
お気軽にお問い合わせ下さい

TEL 622-7963 FAX 622-8414

札幌市中央区大通西20丁目2-20(道新円山ビル8階)

(交通)東西線西18丁目地下鉄1番出口

E-mail lawyer@yoshihara-lawoffice.jp



営業時間においてになれない方はご相談下さい。